



アルファ電子株式会社 専務取締役

樽川 千香子 さん

enspace 賞

エフコム賞



福島のお米を活用した米粉麺の生産による 地域活性と地産地消型OEMへの挑戦

住 所 福島県岩瀬郡天栄村大字飯豊字向原 60-2

T E L 0120-400-106

e-mail tarukawa.chikako@alpha-e-net.com

U R L <https://www.alpha-d.com>

創 業 1969年4月1日

事業内容 医療機器、電子機器、開発設計、部品調達からの一貫生産対応、
食品関連事業（米粉関連商品製造販売、生キクラゲ生産）



🔥 家業を継ぐ道を選び、新たな業態へ挑戦

アルファ電子株式会社は、1969年の設立以来、工業製品メーカーとして、電子部品の受託製造を手掛けてきました。創業者から数えて3代目にあたる樽川千香子さんは、直接家業である同社へは進まず、介護職、事務職、専業主婦などで生活を営んでいました。人生の転機となったのは東日本大震災。震災当時、樽川さんは生後3ヶ月の娘さんを抱えて新潟県へ逃れ、3年間の避難生活を送ります。このとき、福島へ戻る決意と同時に家業を継ぐ覚悟を決め、2015年にアルファ電子へ入社しました。

入社後の樽川さんは、電子部品の受託製造という仕事の将来に、危機感を覚えます。景気の変動に影響を受けやすいため、いずれは家業の継続や社員の雇用にも悪い影響が

出かねない。そこで、新たな事業への展開を目指すことで活路を求めます。さらに、幼少期から小麦アレルギーだった娘さんを持ち、仕事、家事、育児の両立に奮闘してきた樽川さんには、女性の心に寄り添う“ものづくり”を目指したいという思いも膨らんでいました。この思いに対し、避難生活で得た縁が具体的な行動を後押しします。当時知り合った企業が、六次化に取り組み米粉を生産していたことから、樽川さんは自分でもグルテンフリーの米粉麺の研究開発に挑みます。こうして、家業存続への想いと自身の経験や縁がつながり、食品部門の立ち上げに向かうこととなりました。

🔥 製造業ならではの開発プロセスでおいしい米粉麺を実現

食物アレルギーの有病者数は増加傾向にあり、日本の小麦アレルギー罹患者数は19万人に上ると話す樽川さん。うどんやパスタなど、日本の食卓においても麺は最もポピュラーな食材のひとつです。しかし、小麦アレルギーを持つ子どもたちは、みんなと同じものが食べられず、食事の場面でさみしい思いをすることもしばしば。日本の食卓を笑顔で溢れる場所にするためには、グルテンフリーの米粉麺を、仕方なく食べるものではなく、おいしい食材として提供することが重要と考えます。

ここで、メーカーとしての経験が生きてきます。厳しい生産基準をかいくぐってきた電子部品製造の視点が、食品に向けられた結果、データ分析や数値化により、粘度特性、破断強度試験、粒子径分布、香気分析など、いくつもの研究が重ねられ、おいしい米粉麺の追及は、科学的根拠に基づいた開発プロセスを歩みます。こうして、「う米めん」と名付けられた同社の商品は、高い評価を集めるに至ります。

さらに、福島県産のお米を使うことで地元のお米農家を守りたいと話す樽川さん。お米を新しいカタチで食べること

で、お米の消費量の低下や食料自給率の低下を食い止めたいたいと考えます。食に関する課題解決の道を選ぶことで、会社が抱えていた問題の解消に向かう。事業承継を目指す立場で、生みの苦しみも知りながら不易流行を実践する樽川さんの挑戦は、歴史を重ねてきた地域の企業にとっても、ロールモデルになりうる可能性を秘めています。



福島のお米でできた米粉麺▲